

平成29年度介護福祉研究センター 事業報告

会議関係

運営委員会

日 時	議 事 内 容
第1回：平成29年5月29日（月）	・運営委員会の開催日時 ・センター会議及び介護福祉セミナー ・センター紀要「介護・福祉研究」 ・センター事業担当者 ・介護福祉研究第3号の配布 ・三重県文化会館との連携
第2回：平成29年6月25日（日）	・運営委員会の開催日時 ・新規研究員の推薦 ・センター紀要「介護・福祉研究」第4号
第3回：平成29年7月 6日（木）	・執筆希望者の確認 ・今後の事業確認
第4回：平成29年8月24日（木）	・後期センター会議 ・定例研究会 ・介護職員キャリアアップ講座 ・高校生等を対象とした介護福祉啓発活動 ・介護福祉セミナー ・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動 ・施設との交流事業 ・研究紀要 ・懇親会
第5回：平成29年10月11日（水）	・定例研究会 ・介護職員キャリアアップ講座 ・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動 ・施設との交流事業 ・研究紀要
第6回：平成29年12月 6日（水）	・後期センター会議 ・介護福祉セミナー ・平成29年度事業経過報告案 ・平成30年度事業計画案 ・平成30年度予算案 ・新規研究員の推薦
第7回：平成29年 2月13日（火）	・定例研究会 ・次年度の事業計画 ・介護職員キャリアアップ講座 ・研究紀要の進行状況、予算 ・今年度予算の執行状況

センター会議

前期センター会議：平成29年6月25日（日）

於）介護福祉研究センター

- ・平成28年度事業報告
- ・平成29年度事業計画
- ・辞令交付



後期センター会議：平成29年12月16日（土）

於）介護福祉研究センター

- ・平成29年度事業経過報告
- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度予算案

研究活動

定例研究会

第16回定例研究会：8月29日（火） 於）介護福祉研究センター	
テーマ：「児童養護施設聖マッテヤ子供の家における「安全委員会」への取り組み」	
発表者：黒宮英二研究員、参加者：11名	
内 容：聖マッテヤ子供の家施設長の黒宮研究員より最初に、日本の社会的養護の現状と児童養護施設の役割について説明を受けました。その後、施設における様々な暴力問題を解決・改善するために提案されている「安全委員会」方式について説明を受け、施設で導入することになったきっかけとその経緯についての話を伺いました。	
第17回定例研究会：9月21日（木） 於）介護福祉研究センター	
テーマ：「自閉症支援の法的規定—いわゆる自閉症施設から自閉症支援へ」	
発表者：植木是研究員、参加者：8名	
内 容：植木是研究員より、先行研究のレビューと自閉症者支援の実践の歴史を振り返りながら、自閉症者が歴史的にどのように位置づけられてきたのか、自閉症施設がどのように扱われてきたのか、自閉症者に対する支援がどのように発展してきたのかについて発表が行われました。	
	
第18回定例研究会：10月18日（水） 於）本学介護福祉研究センター	
テーマ：「母子生活支援施設入所世帯の所得変動に関する一考察—入所後3年間の所得に注目して」	
発表者：武藤研究員、参加者：12名	
	内 容：武藤敦士研究員より発表が行われました。2002年改革と言われる国の施策から動き出した母子世帯の現状、施設や行政の動向、さらには施設入所世帯の現状について話を伺いました。この研究結果は介護福祉研究センター紀要「介護・福祉研究」第4号に掲載されました。

第19回定例研究会	： 11月22日（水） 於）本学介護福祉研究センター
テーマ	： 障害者問題に於ける「違う」と「同じ」の狭間―相模原障害者殺傷事件からの考察―
発表者	： 山本啓介研究員、参加者12名
内 容	： 山本啓介研究員より報告いただきました。相模原障害者殺傷事件の犯人が「違わない」ことを「違う」ととらえた背景に何があったのか、犯人が発信したメッセージを手がかりに、なぜそのような思考（思想）に至ったのかを様々な「違う」と「同じ」に関する事例を通して説明していただきました。
第20回定例研究会	： 12月13日（水） 於）本学介護福祉研究センター
テーマ	： 在宅における医療的ケアの看護職、介護職の連携・協働の現状と課題
発表者	： 福田洋子研究員、東律子研究員、参加者9名
内 容	： 東研究員、福田研究員より発表が行われました。訪問看護、訪問介護事業所でのアンケート調査から明らかになった医療的ケアの現状と看護と介護の連携の課題等について話を伺いました。
第21回定例研究会	： 平成30年1月17日（水） 於）本学介護福祉研究センター
テーマ	： 音楽療法セッションにおける期待できる効果について
発表者	： 長谷川恭子研究員、参加者8名
内 容	： 長谷川恭子研究員から音楽療法士として実際に取り組んでいる活動を通じた実践報告がありました。高齢者を対象にトーンチャイムや指揮棒を取り入れた活動や社会貢献につながる活動を通して、立位の保持など身体機能の維持・改善が図られることや、自発的な行動の促しなど意欲の引き出しによって豊かな生活を実現していく実践例が報告されました。また、社会貢献を目的とした活動では、社会との接点を持ち他者から認められることを通して自己肯定感を高めていく効果についても報告がありました。さらに、集団活動に参加することによる効果だけでなく、心身の状態によって参加できない利用者の居室を訪問して、個別に行う音楽療法についても併せて話を伺いました。
第22回定例研究会	： 平成30年2月21日（水） 於）本学介護福祉研究センター
テーマ	： 障害者差別解消法・その後～合理的配慮の実態～
発表者	： 蒔田勝義研究員、参加者13名
内 容	： 蒔田勝義研究員から聴覚障害者の事例を中心に、障害者に対する差別の現状と課題について報告いただきました。報道された学校、職場、病院など様々な生活場面で起きた差別事例の問題点を解説していただくとともに、身近な県内各地の事例を紹介いただきました。参加者は質疑応答を通して合理的配慮について考えるとともに、当事者が自ら合理的配慮を求めることができるようにエンパワメントしていくことが支援者に求められていることを学ぶ機会になりました。

実施事業

高校生等を対象とした介護福祉啓発活動

介護体験バスツアー	： 8月8日（火）10：00～15：00 於）特別養護老人ホーム安濃聖母の家、 特別養護老人ホーム報徳園
参加者	： 7名（高校生3名、留学生4名）、 ボランティア学生2名、研究員3名



介護福祉セミナー

6月25日（日）13：00～16：20 於）高田短期大学 介護実習室	
第1部「福祉用具の選び方、使い方」 講師：中川千代研究員 第2部「電動リフターの使用方法」 講師：阿部良隆氏（モリト一営業部中部営業所主任） 参加者：各講座20人（一般5人、卒業生6人）	
	
12月16日（土）13：00～16：20 於）高田短期大学 介護実習室	
第1部「音楽療法を体感～音楽と運動とおしゃべりタイム♪」 講師：長谷川恭子研究員 第2部「福祉施設における虐待の現状」 講師：徳山貴英研究員 参加者：各講座30人	

白子公民館の高齢者と学生の交流事業

第1回 6月3日（土） 11：00～12：00	
高齢者：18名 学生：15名 研究員：1名 内 容：「明日があるさ」に合わせた簡単な体操、 あいこジャンケン班ごとに「いつでも夢を」の歌に合わせた楽しい体操を考案する。 ※今年度は名札をつけ、個人を意識した関わりを目指す ※介護福祉研究センター第3号の冊子配布	
第2回 7月1日（土） 11：00～12：00	
高齢者：18名 学生：10名 研究員：2名 内 容：「ふじの山」「三百六十五歩のマーチ」に 合わせた軽い体操 紙風船たたき（名前を呼びバトン） スポンジタワー、お金持ちゲーム	

第3回 8月5日(土) 11:00~12:20 高齢者: 18名 学生: 10名 研究員: 1名 内 容: 「いつでも夢を」に合わせた軽い体操 (皆で考案したもの) クロスワードパズル(2種)~模造紙 に大きく書く(留学生)	
第4回 10月7日(土) 10:40~12:15 高齢者: 10名 学生: 5名 卒業生: 1名 研究員2名 内 容: 公民館利用者による講演(戦争体験) 切り絵作品づくり(ラミネーターを使って)	
第5回 11月4日(土) 11:00~14:30 高齢者: 10名 学生12名 研究員: 1名 内 容: 「いつでも夢を」に合わせた軽い体操 チーム対抗人間すごろく ※終了後、白子公民館成人講座受講生の所有する畑でサツマイモ掘り体験 (伊勢新聞 2017. 11. 5 に掲載)  	
第6回 平成30年1月6日(土) 11:00~13:00 高齢者: 9名 学生: 12名 研究員: 2名 内 容: 「いつでも夢を」に合わせた軽い体操、折り鶴、 ハネ馬づくり、ハネ馬を使った競争ゲーム 2年生より「交流サロン」の学びについて発表 公民館より2年生に感謝状と記念品の贈呈	
第7回 平成30年2月3日(土) 9:30~12:00 高齢者: 5名 茶道教室のメンバー6名 学生: 7名 研究員: 1名 内 容: 旅クラブの会員向けにネパールの踊り披露 お茶会体験、ネパールの踊り披露、 公民館より1年生に感謝状の贈呈 中日新聞「鈴亀ホームニュース」に掲載 2018. 2. 24 	

講演会

- ・ 10月6日（金）10：00～於：一身田桜町公民館
- ・ 講師：中川千代研究員
- ・ テーマ「認知症予防」、参加者：28名

社会福祉施設との交流事業

11月14日（火）3限目の授業時、高田光寿園に訪問し高齢者と交流し学びあう。
介護福祉コース2年生が2グループに分かれ、歌やクイズ等のレクリエーション活動を提供。

白子公民館との交流

- ・ 11月28日（火）11：00～14：00
- ・ 2限目（1年生）及び3限目（2年生）の授業の中での交流
- ・ 学生食堂にて昼食をとりながらの交流
- ・ 公民館利用者8名、学生37名

伊勢新聞に掲載（11月29日付）



高田光寿園での交流事業



本学での高齢者との交流事業

三重県文化会館（三重県文化振興事業団）との共同研究

- ・ 6月30日（金）3限目、5限目
- ・ 「介護に寄り添う演技体験講座」
- ・ 講師：菅原直樹氏（俳優、介護福祉士、四国学院大学非常勤講師）
- ・ 参加者：介護福祉コース2年生15名

